

試験スケジュール概要

- 環境測定分析士3級試験
募集 毎年4月上旬～5月下旬
筆記試験 毎年6月中旬
- 環境測定分析士2級試験
募集 毎年7月上旬～8月下旬
筆記試験 毎年10月中旬
電話ヒヤリング試験 毎年翌年1月下旬
- 環境測定分析士1級試験※
募集 隔年7月上旬～8月下旬
筆記試験 隔年10月中旬
面接試験 隔年翌年1月下旬
- 環境騒音・振動測定士初級試験
募集 毎年4月上旬～5月下旬
筆記試験 毎年6月中旬
- 環境騒音・振動測定士上級試験※
募集 隔年7月上旬～8月下旬
筆記試験 隔年10月中旬
実技・面接試験 隔年翌年2月上旬

※ 和暦奇数年度：環境測定分析士1級試験実施
和暦偶数年度：環境騒音・振動測定士上級試験実施

受験申込者への特典

環境測定分析士1級，2級，環境騒音・振動測定士上級試験の受験者には次の特典があります。協会が催す下記講習会を「5,000円割引」で受講できます。対象となるのは，受験した年度とその翌年度で，計2回を限度とします。

－受験者対象の割引が受けられる講習会－

環境計量士受験準備講習会 計量管理講習会
環境計量士受験直前講習会 技術士受験講習会



一般社団法人 日本環境測定分析協会

環境測定分析士 環境騒音・振動測定士 資格試験のご案内



測定分析と騒音・振動測定 ～プロフェッショナルの資格～

【受験申し込み・お問い合わせ】

一般社団法人 日本環境測定分析協会
環境測定分析士資格認定試験事務局

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西2-3-4
TEL 03-3878-2811

環境測定分析士

検索



<https://www.jemca.or.jp/>



一般社団法人 日本環境測定分析協会

資格認定の目的

大気汚染物質、水質汚濁物質や騒音等の測定分析の業務は、環境への負荷の大きさを把握し、環境への負荷軽減と環境保全の効果を評価するために必要不可欠なものであり、地球環境保全と国民の「安全・安心」の確保に大きく寄与しています。

そのため、環境測定分析には的確さと高い信頼性が求められています。その現場で実際に活躍している方の能力と技術力を評価するのが、「環境測定分析士」試験です。現場技術者のチャレンジをお待ちしています。

資格取得のメリット

環境測定分析士試験は、平成18年の開始以来、合格者が3,500名を超えました。すでに大阪府や鳥取県では入札の際に必要な業務責任者等の資格として、環境計量士（濃度）、技術士（環境部門等）と並んで環境測定分析士を挙げています。これから更に、資格取得のメリットの増加が期待できます。

また、3級試験は環境測定分析業界への就職を考えている方には大きなプラスとなるでしょう。

環境測定分析士等の合格者実績

環境測定分析士 3級	2,808名 (4,996名)
環境測定分析士 2級	496名 (887名)
環境測定分析士 1級	36名 (86名)
環境騒音・振動測定士初級	419名 (676名)
環境騒音・振動測定士上級	19名 (32名)
合格者合計	3,562名 (6,338名)

※ () 内は受験者数を示す 平成28年12月現在

試験の種類と受験資格

- (1)環境測定分析士 3級試験
環境測定分析業務に従事している方又は環境測定分析に関心のある方
- (2)環境測定分析士 2級試験
実務経験 3年以上かつ環境測定分析士 3級試験に合格し、認定証の交付を受けている方（みなし規定あり）
- (3)環境測定分析士 1級試験
実務経験 5年以上かつ環境測定分析士 2級試験に合格し、登録証の交付を受けている方
- (4)環境騒音・振動測定士初級試験
環境騒音・振動測定業務に従事している方又は環境騒音・振動測定に関心のある方
- (5)環境騒音・振動測定士上級試験
実務経験 3年以上かつ環境騒音・振動測定士初級試験に合格し、認定証の交付を受けている方

受験料

環境測定分析士 3級試験	}	一般	7,000円
環境騒音・振動測定士初級試験		学生	4,000円
環境測定分析士 2級試験			15,000円
環境騒音・振動測定士上級試験			15,000円
環境測定分析士 1級試験			20,000円



試験方法等

- (1)筆記試験の方法
 - ①試験科目と内容
3級試験：四択問題30問
初級試験：四択問題30問
2級試験：四択問題20問及び記述問題8問から4問選択
上級試験：四択問題20問及び記述問題6問から4問選択
1級試験：記述問題8問から4問選択
 - ②1級及び2級の専門分野
第1分野（一般項目） 生活環境項目等
第2分野（金属類） 重金属等
第3分野（有機物類） 農薬、油中PCB等
第4分野（極微量物質類） ダイオキシン類等
 - ③参考書
当協会ホームページをご覧ください
- (2)実技試験の方法
 - ①1級、2級試験受験者は筆記試験日に実技試験料を受け取り、各事業所（各試験所）において、試験試料を自ら分析して報告する
 - ②上級試験受験者は測定に必要な機材を持ち込み、測定して報告書を作成する
- (3)面接試験の方法
 - ①2級試験の電話ヒヤリングは約15分間とする
 - ②上級試験の面接時間は約20分間とする
 - ③1級試験面接時間は約45分間とする

資格登録について

環境測定分析士1級、2級、環境騒音・振動測定士上級試験合格後の登録について

- (1)上記試験に合格された方が、環境測定分析士1級、2級及び環境騒音・振動測定士上級になるには、当協会への登録が必要です
- (2)登録に関する手続き方法は、当協会ホームページをご覧ください